

授業実践とその参観から学んだこと

理科(中学校)班

昭和村立昭和中学校
太田市立尾島中学校
中之条町立中之条中学校

第3学年
第2学年
第3学年

七五三木宏
中村 和子
佐藤 憲司

視点1

◆ 評価項目に照らし合わせた見取りと、より客観的な評価 ◆

- 教えるべきことを教師がいかに明確にしているかということが客観的な評価には大切である。
- 本時の評価項目を入れた評価シートを使って授業を進めると、生徒は学ぶべき事柄を知ることができ、それに向かって努力しようとする姿が見られた。その姿を教師が評価という形で認めていくことが生徒を伸ばすことにつながり、生徒が納得した上での、より客観的な評価につながっていく。



視点2

◆ 科学的思考力をつけるための指導の工夫 ◆

- 考えるための道具として、絵や図あるいは事象を単純化したモデルを提示することが大切である。
- 生徒相互の学び合いを促すような交流学习(MD学習等)を行えば生徒にとって必然的に思考せざるを得ない状況が生まれる。



視点3

◆ 生徒に興味・関心をもたせる導入の工夫 ◆

- 導入にもいろいろな方法があり、授業内容や生徒の実態に合った方法を適切に取り入れることが重要である。
- 導入と授業内容の結びつきが、生徒の目から見てわかりやすいものでないと、導入の工夫が効果的に展開へと結びつかない結果となることがある。

